

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立比々多小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができている。 登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることができている。 言葉には、同じ音で違う意味をもつものがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめること。 まとめた考えを基に、ある程度まとまった文を書くこと。 文章全体の構成に着目して、文章を整えること。 漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 被乗数に空位のある乗法の計算をすることができている。 長方形の構成について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 割合の知識技能。 目的に合った数の処理の仕方を考察すること。 図形の構成要素である角の大きさについて考察すること。 作図の手順を図形の構成要素に着目して単純化すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察の視点を明らかにし、自分の考えをもつことができている。 自然観察の際に得た情報を複数の視点で分析・解釈するとともに、自分の考えをもつことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日光が直進することを理解すること。 事象や情報を基に自分の考えをもつこと。 自分の考えを必要な要素を落とさずに書くこと。 メスシリンダーという器具を理解すること。 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話等の使い方について、家の人との約束を守っている割合が比較的高い。 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦する価値に気づいている割合が比較的高い。 読書が好きな児童が比較的多い。 自然の中で、遊んだり観察したりすることが好きな児童が比較的多い。 授業の中で工夫して発表していたと考える児童が比較的多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 家で計画を立てて日常的に勉強している児童が少ないこと。また、勉強している時間も比較的に短いこと。 授業でICT機器を使っている割合が比較的に低いこと。 総合的な学習の際、自分の立てた課題を追究する学習を進めている児童の割合が比較的に低いこと。 国語、算数、理科ともに学習内容がよく分かる児童の割合が低いこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んだり、経験したりしたことから、自分の考えをもたせる学習活動をしていく。 自分の考えをまとめた文章にして表現する学習活動を単元の中に位置付けるようにしていく。 文章表現においては、漢字を使うよう促していく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 割合の考え方に繋がるかけ算、わり算の意味を児童が納得して知識化できるような数学的な活動をしていく。 問題解決の道筋を単純化して式に表したり、プログラミングの思考を使って表したりする活動を単元の中に位置付けていく。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある事象や情報を様々な視点で捉える学習活動を単元の中に位置付けていく。 自分の考えをまとめる際、必要な情報を落とさず詳しく表現しようとする意識をもてるようにしていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を自主的に日常的に進められるよう、褒めたり促したりしてください。 携帯電話などの使い方は約束を守れる児童が多いようなので、まだ約束をしていない家庭は約束を決めてみてください。また、約束がある家庭はどのような使い方を行っているか日常的に話題に取り上げるようにしてください。 読書が好きな児童が比較的多いので、最近読んだ本はどのような本か家族で話したり、苦手な児童にはその児童の興味のあるジャンルの本を薦めたりするようにしてください。
